

【ごみの分別回収について】

瀬戸内市の行政改革プランが示されました。その中で今後ごみ袋は、現在の1枚20円から45円への値上げが考えられているようです。

受益者負担とやらで、ごみの処理にかかる費用は負担してもらおう。岡山市は50円・赤磐市は45円・備前市は45円となっており、近隣の市にあわせるというものでした。

くさかとしこの一言！

みなさんおかしいとは思いませんか？近隣の市にあわせるといっていますが、総社市は23円・倉敷市は指定のごみ袋はありません。

都合のいい理屈をつけているような気がしてなりません。たしかに受益者負担はある程度は必要かもしれませんが、安易にまず市民負担をあげるのではなく、行政の方がまだできることがあるのではないのでしょうか？
まず、行政の改革による歳出削減を行うべきだと思います。

	買取ってもらえる物 (キロ単価)	処理料がかかる物 (キロ単価)
燃えるごみ		17.1円
飲料缶	59円	
ビン		11円
金物	15.6円	
ペットボトル	9.7円	
その他プラステック		10.8円 (今後49円になる)
古紙	11.4円	
粗大ごみ		58.4円
古布		
乾電池		151.4円

お金を出して引き取ってもらうものについてはできる限り安く、そして買い取ってもらうものについてはできる限り高くということで、きつともっと研究をしたらいろいろなやり方や業者の選定ももっと工夫できるのではないかと思います。
ごみ袋の値上げは最終手段であって、まず歳出削減の努力をすべきです。
幸いにも今回から環境福祉の常任委員会に所属させていただくことになりました。
しっかり勉強して、しっかり追求していきたいと思っています。

とっしん'S コラム



今年の田植えはうれしい出来事がありました。それは、たのもしい助っ人が現れたことです。

わたしの小さな友達が、『おばちゃんなにしようん？』『手伝ってあげようか？』とやってきてくれたことです。
きっと昔はこうして地域で子どもたちにいろんな事を伝えていったんですね。そう思うとなぜだかとてもうれしくなりました。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。
よろしくお願い致します。

行政 NEWS

とっしん

vol.9

本格的な夏がやって来ましたが、皆様にはお変わりございませんでしょうか？
辺りを見渡すと、田んぼがまるで緑のじゅうたんを敷き詰めたように、輝いています。私はこの景色が大好きです。本当にこんなステキなところに暮らしていることが自慢です。

皆様に市政へと送り出していただき、2年が過ぎました。その間常に、皆様の声を市政に届けていきたい、その思いでやってきました。その思いは、今もこれからも変わることはありません。

まだまだ未熟者で、なかなか皆様のお役にたてるまで行きませんが、これからも常に皆様の声に耳を傾け、訴えていきたいと思っております。

引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

これから、ますます暑い日が続きますが、皆様にはどうか無理をなさらず、お体ご自愛ください。

今回の私の一般質問は

- ・学校給食の米飯炊飯について
 - ・ごみの分別回収について
 - ・公民館・図書館行政について
- を取り上げさせていただきました。

瀬戸内市のその他の行政課題について、ご報告します。

1つは、上水道の浄水場の問題

瀬戸内市の水源は、邑久の福山浄水場・長船浄水場・岡山県から購入する広域水道企業団の水の3系統があります。邑久の福山浄水場について、老朽化してきており改修が必要になっています。以前は、逐次耐震化しながら対応することになっていましたが、ここに来て稼働させながらの工事は無理ということで、膜ろ過方式という新方式での全面改修の方針が打ち出されています。

今後どのやり方が本当に瀬戸内市にあっているのか、しっかり議論していかなければいけないと思っています。

1つは、火葬場の問題

牛窓地域の方は、牛窓に火葬場があります。邑久・長船地域の方は、備前か西大寺を利用していることが大半だと思います。

この西大寺の火葬場が実は、岡山市において建て替えは困難として廃止される見込みが強くなっています。

岡山市と共同で火葬場を建設する話があり、瀬戸内市として現在候補地を絞っているところです。

岡山市にも近いことから、ブルーライン沿いが有力なようです。

しっかり岡山市と連携して、1円でも瀬戸内市の支出が少なくなるようにしていかなければいけないと考えます。

今回、2年の折り返しを記念して、もっともっと地域のために

【とっしん】

していけるように、表紙の題字を書きました。

いかがですか？ すこしはまともな字がかけられるようにと始めた習字ですが、なかなか上手にはなりません。

平成27年8月1日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員
くさか としこ
〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

【学校給食の米飯委託について】

今年度から邑久の学校給食の米飯炊飯が、委託炊飯となりました。昨年11月にこの方針が示された時、反対をさせていただきました。下記の表が4・5・6月の長船・邑久・牛窓の米飯のメニュー一覧です。

4・5・6月の米飯学校給食 献立一覧表

長船		邑久		牛窓	
麦ごはん	17	麦ごはん	23	麦ごはん	17
そばろごはん	1	もち麦ごはん	1	もち麦ごはん	2
鶏ごぼうごはん	1	もぐ丸くん(鶏肉ごはん)	1	梅ちりごはん	1
カレーライス	1	カレーライス	2	カレーライス	1
たけのこごはん	1	たけのこごはん	1	たけのこごはん	1
こうごずし	1			こうごずし	1
牛肉どんぶり	1	牛肉どんぶり	1	焼肉どんぶり	1
アラスカごはん	1	ピースごはん	1	アラスカごはん	1
山菜おこわ	1			山菜おこわ	1
ハヤシライス	1				
あぶたまどんぶり	1			ふわふわどんぶり	1
大豆入りドライカレー	1	大豆入りドライカレー	1	大豆入りドライカレー	1
大豆と鶏肉の混ぜご飯	1			ひじきごはん	1
じゃこ菜飯	1			炒り大豆ごはん	1
たこめし	1			玄米ごはん	1
ビビンバ	1	和風ビビンバ	1	パエリア	1
チキンライス	1				
		わかめごはん	1	わかめごはん	1
				きんぴらどんぶり	1
17種類	33回	10種類	33回	17種類	34回

くさかとしこの一言！

皆さんはもうお気づきになりましたか。あきらかに邑久のメニューが少ないことに。一度ももち米のおこわも、おすしもありません。また、聞くところによると委託業者は調理はしないそうです。〇〇〇の素をいれて一緒にただけだそうです。

その点、長船・牛窓は地産の野菜を調理して、だしを取って炊いてあとまぜするような手間のかかった愛情のこもった米飯です。邑久の子どもたちにもそんな米飯を食べさせてあげたいのです。

ましてやこのままなし崩しに長船・牛窓の米飯炊飯まで、委託になってしまうのではないかと大変危惧しています。

せっかく直営の給食センターがあるのですから、これからも今まで通り手間のかかった愛情のこもった給食を子どもたちには食べてもらいたい、そして瀬戸内の良さを実感して欲しいとそう思います。

【公民館・図書館行政について】

今後の瀬戸内市の公共施設の再編計画が示されました。その中で耐震のない長船町公民館は、ゆめトピアへの移転との案が示されています。

長船町公民館はまさに、地域の人々の交流と学びの場です。ゆめトピアは保健福祉施設として、活発に使用されています。

どちらも活発に使用されているこの2つの施設が、本当に一緒になることが可能でしょうか？

長船町公民館		ゆめトピア長船	
	月平均使用回数		月平均使用回数
大ホール	47件	大ホール	9件
小会議室	28件	小ホール	20件
講義室	23件	健康スタジオ	20件
ボランティアルーム	30件	研修室1	27件
ビリヤード室	年間 1,508人 月平均 126人	研修室2	25件
菊づくり	年間 742人 月平均 62人	ボランティアルーム	10件
陶芸	年間 662人 月平均 55人		
菊花展	来場者 6,000人		

くさかとしこの主張！

長船町公民館には土間の部屋があり、陶芸の窯もあります。ビリヤード室があり、卓球台、カラオケもあります。

土間の部屋では、菊づくり・染色・陶芸・石けんづくり、などが行われています。これらは土間と水が必須で、きれいなゆめトピアでできるような活動ではありません。

また菊花展は長船町時代から開催されており、来年で30周年をむかえます。瀬戸内市の市の花は【菊】です。菊花展の来場者数は6,000人にもなり、今では後楽園の菊花展に負けずとも劣らないイベントになっています。この菊花展はこの場所だからこそ、このような素晴らしいものになっていると思います。

そして、なにより地域の人々のたよりの避難所でもあります。昭和51年の大水の時には、長船町公民館に200~300人の人が避難したと聞いています。福里地域の人にとっては国府小学校へ避難するにも油杉川があるし、長船中学校へ避難するにも干田川を渡らなければなりません。もしもの時には避難できない状況が考えられるのです。地域の人にとってはこの長船町公民館はなくてはならない避難所でもあるわけです。

この長船町公民館は、どうしてもこの場所に今のかたちで必要な建物です。

みなさんもそうは思われませんか？

なにもかも見直して削減・複合化するのではなく、最低限必要なものは守っていつてもらわないといけない、そう強く思います。

そのためには、みなさんと協力しながらどんなことでもしたいと思います。

瀬戸内市の図書館行政は中央の図書館と長船、牛窓の図書室の分館方式でやっていくと聞いています。長船町公民館図書室も中央図書館の開館年度に整備するという約束になっています。

ところが、今回提示された行政改革プランでは、平成28年度の長船町公民館書架購入費の1,000万円が見直されていました。

『長船町公民館図書室の整備をどう考えているのか』

とたずねたところ、

『読書環境は早急に改善する必要がある。現在の図書室において新図書館の開館年度に合わせて読書環境の改善を行いたいと考えている。』

との回答でした。

今後は、読書環境の改善というのがどのようなものなのか、どの程度の改善をおこなってもらえるのかをしっかりと、追求していきます。